

## 令和5年度 社会教育委員 第1回定例会議の概要

1. 日時	令和5年5月19日(金) 14:00~16:30
2. 場所	市役所3階 302会議室
3. 出席者	<p>【社会教育委員】9名出席（飯島稔委員欠席）</p> <p>【市職員】小松教育長、小岩教育部長、宮坂生涯学習課長、吉池文化創造担当部長、高島生涯学習係主幹兼係長、宮坂社会教育指導員、若林生涯学習担当係長 小笠原稲荷山公民館業務係長 坂口八幡公民館業務係長 西澤上山田公民館業務係長 野上更埴図書館業務係長 青木スポーツ振興課主事 小野文化課長 安藤人権・男女共同参画課係長</p>
4. 会議内容	<p>【委員会の進行状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会（宮坂課長）</li> <li>2 教育長あいさつ（小松教育長）</li> <li>3 自己紹介</li> <li>4 協議事項（進行：小林京子委員長）             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)社会教育委員の会議・活動計画について（説明：高島係長）</li> <li>(2)担当地域の確認並びに分担について（説明：高島係長）                 <p>担当地域は案のとおり了承。委員の分担は、北信社教委連絡協議会理事・生涯学習推進本部員は小林京子委員、部落解放・人権政策確立要求千曲市実行委員に小林いせ子委員、子ども子育て会議委員に児玉委員、北信社会教育委員連絡協議会・活動情報誌は、宮坂静委員。</p> </li> <li>(3)社会教育関連組織・予算について（説明：高島係長）                 <p>資料3の組織、予算について説明。</p> </li> <li>(4)令和4年度所管施設等の事業実施報告について                 <p>各所管施設より説明。</p> <p>生涯学習係・・・資料1・2ページ 千曲市公民館運営協議会・・・資料3ページ 各公民館・・・資料4~10ページ 図書館・・・資料11・12ページ 文化課・・・資料13・14・15ページ 歴史文化財センター・・・資料16ページ スポーツ振興課・・・資料17ページ 人権男女共同参画課・・・資料18・19ページ</p> </li> <li>(5)令和5年度所管施設等の事業計画について                 <p>各所管施設より説明。資料1~15ページ</p> <p>・今年度戸倉創造館で修繕予定あり。</p> </li> <li>(6)指定管理者制度並びに評価について                 <p style="text-align: right;">（説明：高島係長・青木スポーツ振興課主事）</p> <p>資料6-1 6-2</p> </li> <li>(7)家庭教育支援条例の取り組みについて（説明：高島係長）</li> </ol> </li> </ol>

資料 7

(8) その他

5. 閉会（宮坂課長）

【主な協議・意見・要望等】

（○は社会教育委員の質問、▲は事務局からの答弁）

(1) に関すること

○小林いせ子委員

千曲市 20 周年記念式典はあるのか。

▲小松教育長

9 月 1 日の予定である。

(3) に関すること

○中島委員

公民館報の経費、どのくらいかかっているのか。カラーにしたらどのくらいになるのか。

○小林いせ子委員

成人式の写真が白黒で残念である。他にカラーのところもあるから、そんなに経費はかからないのではないかと思う。

▲宮坂課長

ホームページにも載せているので、そこでカラーを見てもらえればいい。公民館の情報としてカラーの写真をホームページに載せていけばいい。

○小林いせ子委員

原稿が白黒なので、ホームページでも白黒になってしまう。

○若林委員

個人情報もあり、顔がはっきりわかるのは危ないのかも。館報は見ても、インターネットは見るのか？

▲小岩部長

今は過渡期。基本的にはホームページにどんどん載せていくが、紙媒体も大事である。

○小林いせ子委員

公民館を利用するのは、高齢の方が多く、インターネットは見ないと思う。

▲宮坂課長

成人式参加者は逆に、ネットを見る世代。

▲小松教育長

最後のページの記事がとてもいい。本にしてももらいたいくらいだ。身近な歴史で、多くの方に読んでほしい。

(4) に関すること

○児玉みどり委員

坊城平のバンガローはだいぶ前から貸し出し中止となっているが、利用状況

はどうか。

▲高島係長

貸し出し申し込みは年間に1~2件。日帰りの登山の途中という位置づけで利用されている。バンガローの修繕は計画に至っていない。

○小林いせ子委員

公民館報にはまだ白黒のページがあり、写真がカラーで見られないのは残念。以前から伝えているが、カラー化する予算がほしい。特に来年度の100号はオールカラーにしてほしい。

▲宮坂課長

諸経費の値上がりもあり、予算的に厳しい。100号については考えたい。

○中島委員

電子図書館は何ができて、どうすれば利用できるのか。どのくらいの本が読めるのか。

▲野上業務係長

PCやタブレット、スマートフォンで本の閲覧ができる。長野県に新たな図書館ができた感じ。身分証明書をもって、図書館に来て申し込みをすれば数時間で利用できる。無料（通信料は別）で、現在23000冊の本が読める。

○小林いせ子委員

更埴西図書館は、利用者が少ないがいい環境になってきている。もっとPRしたらどうか。市報で特集するなどしてはどうか。

▲野上業務係長

そのような方向です。

○山崎委員

あんずホールの記事、利用時期についてはどうなっているのか。300万のネーミング代はどうなるのか。

▲小野文化課長

現在設計を進めており、本年度いっぱいには利用できる。令和6年度の早期に改修に着手できるようにしたい。パートナー代については、パートナーと話をしているが、月割でという方向である。

○小林京子委員

松田邸の入場料は？

▲吉池文化創造担当部長

開館当初は無料だったが、今は300円。高校生150円。中学生以下は無料。ガイドツアーも無料で参加できる。

○小林いせ子委員

稲荷山宿・蔵し館の工事はどうなっているのか。

▲吉池文化創造担当部長

耐震工事、外壁工事が令和7年度の途中までかかる。

○中島委員

千曲市総合運動公園構想のめざす姿とは。どんなイメージなのか。構想以外

にハードの予定などはあるのか。

▲青木スポーツ振興課主事

戸倉体育館エリアについてはスポーツ振興課で担当。今年度は戸倉体育館の耐震化を予定している。

▲小岩教育部長

総合運動公園の構想は昨年度市民のご意見をいただいて進めた。戸倉体育館エリアと白鳥園のところの芝生化、千曲川沿いや、温泉界限も使って活性化を図りたい。野球場の整備もという意見もある。基本計画は定まっていないが、市民に使い勝手のいいエリアにしたい。まずは白鳥園の更地部分を芝生にして市民に集ってもらえるようにしていく、また、ご意見をいただきたい。

○堀口委員

地区人権研修会は市から、開催と報告について連絡が来る。計画が出ていないところはチェックしてほしい。地域での研修の場として必ず実施してほしい。

▲○○男女共同参画課○○

そのように申し伝える。

(6) に関すること

○中島委員

「評価」の判定の仕方はどうなっているのか。誰がどこで、どのように判定しているのか。指定管理者は入っているのか。

▲青木スポーツ振興課主事

スポーツ振興課で決めている。指定管理者は入らない。スポーツ協会でアンケートを行っており、参考にしている。

○中島委員

すべてbになっており、いい所も悪い所もないということであればやる意味について疑問を感じる。

○小林いせ子委員

第三者はいないのか。

▲高島係長

その第三者が社会教育委員である。

○中島委員

委託の人（シルバー人材センター）に修繕やメンテナンスを任せているのか。

▲青木スポーツ振興課○○

修繕については、スポーツ協会で業者をお願いしている。協定があって、ある金額以上であれば市が直す。

(7) に関すること

▲小松教育長

「家庭のしつけ講座」の「しつけ」という文言がきつい言葉にとらえられてしまいがちであり、「家庭教育講座」に変えた。

○中島委員

「家庭教育講座」は誰でも、助成金はもらえるのか。どのくらいの執行率か。

▲高島係長

PTA 総会の後の、講演会などの費用の一部になる。令和4年度の申請はなかったが、小中学校には案内している。

○小林いせ子委員

家庭教育支援条例について、各家庭に配布していないということであれば、家庭ではこういうものがあるということを知らない。また、親が子どもにいろいろ教えたりするのは、市の方で強制するものではないと思う。

▲宮坂課長

条例についてはホームページに出ている。子育てに対する情報提供になっており、おしつけるような内容の事業ではないと考えている。情報が市民の皆様にも伝わっていくのが、この家庭教育支援条例の一番の役割である。

○小林京子委員

放課後子ども教室は更級小学校だけのものか。他へは広がっていかないか。予算が結構ついており、公平性に欠けるのではないか。人口のバランスにより児童館にも入れないというところもある。できれば公平にやってもらうのがいい。

▲宮坂課長

施設的にできるのが更級小であること、スタッフとして参加してもらえる方の不足の問題によって、更級小だけで実施している。それに代わるものとして上山田未来塾、八幡っ子教室のようなできることを見つけていく。公平性については、おっしゃる通り。初めは市で運営するが、だんだん地域に任せるという理想があったが、なかなかうまくいかないのが課題である。

○小林いせ子委員

家庭教育支援施策について、ホームページには載っている、ということであるが、そこに至るまで手間がかかる。なぜ配布しないのか。

○中島委員

市報にも載せたことはないのか。市報は全家庭に行く。市報に情報のとっかかりを載せることでいくつもある事業をPRして、使ってもらえるのではないか。

▲宮坂課長

市の考え方としては印刷物を減らし、ホームページを見てもらい、情報を得るという方向である。全部載せるということではなく、それぞれの情報はそれぞれのところから、発信していけばよいと考えている。